

「うあー」をたなへい！
ぼくは、給食が「好き」は、ありません、ど
しにか「うあー」ほしく、自生始めの給食の
牛乳の味に「なつかし」な感じが「なつかし」な
ました。もう「理由」が「あります」。それは、この
始めの「時」目の「前」で「また」牛に「うあー」
あしるを「はな」か「出」し「し」ま、たの「し」す「ほ」う
ま「ん」が「の」よ「う」に「な」つ「た」こ「こ」が「い」つ「た」に「お」ま「の」
あ「ま」あ「ま」が「な」つ「た」

今回は、お母さんに「昔の給食」に「関
関」り「な」つ「た」

お母さんが「小学生」の「ころ」の「ま」
た「た」給食「デザート」一「位」が「い」い「な」
り「よ」う「理」に「い」い「な」カリ「ン」ビ「ー」
ほ「し」は「い」い「な」あ「ま」を「い」い「な」
し「思」ひ「ま」した。お母さんは「家」の「味」
は「す」き「な」が「い」い「な」学校「で」あ「る」の「は」
果「物」の「味」が「い」い「な」

「うあー」を「た」な「へい」

ほ「し」は「牛」に「うあー」か「い」い「な」
した「た」た「た」給食「の」味「が」
毛「乳」の「味」が「い」い「な」
ほ「し」は「い」い「な」友「だ」い「な」
の「時」間「が」す「き」な「な」つ「た」
い「い」な「な」つ「た」が「い」い「な」
か「い」い「な」毛「乳」の「味」が「い」い「な」
か「い」い「な」

ほ「し」は「牛」に「うあー」か「い」い「な」
の「時」間「が」す「き」な「な」つ「た」
他「に」毛「乳」の「味」が「い」い「な」
「牛」に「うあー」か「い」い「な」
ま「た」ほ「し」は「い」い「な」
牛「に」うあー「か」い「い」な「な」